

# 展海



佐世保市大湊町50番地1

発行者

にじいろ 施設長

南部 幸子

編集 広報委員会



## にじいろ屋上より北側の眺望

写真左は愛宕山、中央に架かる橋は松浦鉄道、相浦川にはシラサギなどの水鳥や季節によりカルガモ親子の姿を見かけることもあります

## 就任ご挨拶



理事長

吉村 勝彦

この度、6月1日付で西前理事長の後を受けて、理事長に就任いたしました。当事業団は、昭和48年に長崎県の出資により発足し、県より障害者施設を受託経営してまいりました。平成18年度より、完全民立民営の社会福祉法人となり、施設名を「つくも苑」とし、施設の設置主体として運営を行ってまいりました。本年3月に、野崎町から大潟町に施設移転を行い、「にじいろ」として新しい生活を始めた時に、理事長という大役の命を受けました。40年以上の歴史を持つ法人ということと合わせて、身の引き締まる思いであります。関係者皆様方におかれましては、よろしくお願いいたします。

当事業団の経営理念である、「人として」……ご利用者の人権を尊重し、奉仕精神と協調性をもち、安心・安全で心温まる介護・福祉サービスを提供できるよう絶えず努力します。……という理念を念頭に、ご利用者、ご家族の思いに応えられる、質の高いサービスを提供するとともに、地域に愛され、地域に貢

献できる法人として、役員が一丸となり、前進してまいりたいと考えておりますので、皆様方のご指導と、ご支援を賜りますようお願いいたします。

さて、現在、当事業団を取り巻く環境は先行き流動的で厳しい状況にあります。経営組織の在り方及び財務規律の強化や、事業運営の透明性の向上等を目的とした社会福祉法等の一部改正、障害者総合支援法の見直し、介護人材確保に向けた国の取り組みの拡大など多岐にわたる対応が求められております。

こうした状況の中、利用者の方や役員の人などのご協力により、今年3月、新施設「にじいろ」として、新しいスタートをきることができ、半年になろうとしております。当事業団の理念である「人として」をご利用者、ご家族の皆様、役員、関係機関、ボランティアの皆様と共有できれば、現在や将来の課題に対応することができ、乗り越えていくことができると信じております。

ところで、私は、昭和51年に長崎県に入庁し、36年間県民の方へのサービス提供に努めてまいりました。その後、長崎県商工会連合会で、商工業者の方へのサービス提供にあたりました。そして、事業団において、ご利用者のサービス提供に努めることになりました。このように、私の社会人生活は、サービスを提供する立場にありました。サービスを提供する立

場の者は、常にサービスをお受けになる方のニーズがどのようなものか、その思いを独りよがりではなく、的確に把握することが大切であると考え行動してまいりました。

「にじいろ」で、ご利用者の方やご家族の皆様が、日々一生懸命努力されている姿を拝見すると、自立、社会活動への参加への強い思いをひしひしと感じております。その思いに伝えるために、質の高いサービス、ご利用者の皆様に選択されるサービスを提供することが、肝要であると考えております。

そのためには、職員の確保と職員の資質向上に努める必要があります。職員の皆様には、社会福祉の仕事は、人がよりよく、しあわせに生きることを支えるとともに、地域や社会の発展に貢献できるという仕事の意義を再認識いただき、職員の皆様の日々の実践が、社会における大切な役割を担っていることを共有したいと思っております。また、大変苦勞が多い仕事ですので、職場内は明るく楽しく、ご利用者の方の笑顔、職員の笑顔があり、話し声があふれる職場環境になるよう努めます。

最後になりますが、関係の皆様方におかれましては、私ども長崎県障害者福祉事業団役員一体となつて、長崎県、佐世保市の社会福祉の向上及び当事業団の今後の発展のため取り組んでまいりますので、引き続き一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

## 「口腔ケア」の取り組みについて



歯科衛生士

山田 真裕

にしろ診療所で、利用者様の口腔ケアと摂食嚥下を担当しています歯科衛生士 山田真裕です。

口腔ケアは、近年病院や施設、介護の現場で大変重要視されています。特に、高齢化を迎え、QOL（生活の質）の観点から高齢者の口腔機能の維持・向上が重要になり、口腔ケアは、単にむし歯や歯周病などの口腔疾患の予防的手段ではなく、全身疾患の改善や健康増進のための一環と考えられるようになってきました。

当施設でも、高齢化が進み誤嚥性肺炎で入院されたり、唾液の量が減って口の中が乾燥したり、口腔機能の低下でしっかり噛むことができなくなっている方がいらっしやいます。口腔ケアには、単に口の中をきれいにするだけではなく、味覚の改善、インフルエンザ予防、全身疾患の予防、認知症の予防、意識レベルの改善、他にも低栄養の改善や食べる楽

しみの回復と全身の健康から精神面までの影響が期待できると言われています。なかなか食事や水分を摂れない利用者様に、口腔ケアは効果が期待できる取り組みです。

私も、学生の時に担任の先生から、勉強に集中できない時やイライラして気持ちが落ち着かない時は、「歯磨きをしてリフレッシュをしたらいいよ」と言われた事がありました。その当時受験でナーバスになっていた気分が変わったことを覚えています。

雑談になりましたが、口腔ケアは、生きる意欲の向上につながるとも言えます。そして、生きることや喜びは「口から食べる、飲み込むこと」へと繋がります。すなわち、摂食嚥下です。

誤嚥性肺炎と同様、摂食嚥下障害も増加傾向にあります。当施設では、摂食嚥下機能に障害がある方に対して、「摂食嚥下リハビリテーション」を行っています。摂食嚥下障害があると、食事が十分に摂れないことや、飲食物や唾液が気管、肺に入る「誤嚥」を起こすことがあります。また、誤嚥が起きると窒息や肺炎を起こす危険があり、重大な問題です。

現在、月に2回、長崎大学病院の歯科医師川崎貴子先生に口腔ケアや摂食嚥下の評価、食事形態についてご指導を受けております。

先日、川崎先生による摂食嚥下機能検査（嚥下内視鏡検査）、簡単に言えば食べ物を食べながら鼻から小さいカメラを挿入し、誤嚥の有無を調べる検査の研修会が実施されました。この検査を本格化することで、安全な栄養摂取方法や食事介助などについて、より具体的な支援のご提案が期待できます。また、この検査を通して利用者様にとって食べやすい、飲みやすいことがわかれば、生活支援員も食事介助をしやすくなり、お互い有益な状態になるでしょう。

一人でも多くの利用者様が一口でも多くお口から笑顔で美味しく召し上がれるよう、そして健康に過ごされるように、これからも支援をさせて頂きたいと思えます。



# 新任職員プロフィール

氏名：今野夏子  
 住所：佐世保市  
 職名：生活支援員  
 生年月日：S 54/7/22  
 趣味：音楽鑑賞  
 性格：マイペースでゆっくりしている



大切なもの：自分の時間  
 尊敬する人：両親  
 私の抱負：2階フロアに配属になりました。覚えることが沢山ありますが、先輩職員の皆様に指導・助言・手助けしてもらえばかりです。早く業務を身につけて利用者さんのことや業務を覚えたいです。皆様方に感謝の毎日です。

氏名：樋渡眞美子  
 住所：波佐見町  
 職名：生活支援員  
 生年月日：S 54/6/5  
 趣味：写真撮影  
 性格：穏やかで少し大ざっぱ



大切なもの：二人の娘  
 尊敬する人：頑張り者の母  
 私の抱負：一日でも早くしっかり仕事を覚え、利用者の皆さんに安心して頂けるような支援員になりたいです。

## 宿泊旅行



地域支援課  
 課長

西川 宏明

今年の宿泊旅行は7月19〜20日にかけて1泊2日の福岡コースで、1日目はヤフオクドームでの野球観戦、2日目はマリナーワールド水族館でした。数年に一度しか順番が来ないので、参加をされる皆さんはとても楽しみにされています。今回は野球観戦がメインのためか、参加者5名は全て男性利用者でした。さて、例年は朝から出発するのですが、ナイター観戦で遅くなることを考慮して、昼食後に出発をしました。約2時間半で宿泊するシーホークに到着し、暫く休憩し球場へ向かいました。この日は運良く「鷹の祭典」というイベント中で、入場者全員に青いソフトバンクホークスのユニホームが配布されて、早速みんなを着用して青に染まった満員の球場で応援をしました。売店でお土産や応援グッズを買い込んで応援をしました。この日はホークスの勝利は見られず残念でしたが、でも、恒例の7回裏の応援歌を合唱し、ジェット風船を飛ばして大満足の1日目でした。



「満員のヤフオクドーム」

2日目はマリナーワールドへ行きました。見上げるほどのパノラマ大水槽で優雅に泳ぐサメやエイの大きさには圧倒されました。大小様々な水槽で泳ぐ魚、エビ、カニ、イカを見て「刺身にして食べたらいいだろうなあ」と思ったのは私だけでは無いようでした。また、イルカの大ジャンプにアシカの愛嬌のあるショーは楽しめました。その後、レストランで昼食を食べ、売店でお土産を買い帰路に着きました。今回の旅行は天候にも恵まれ、利用者の方がとても楽しまれている表情が印象的でした。

資金収支計算書

(自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日

(単位:円)

勘定科目		社会福祉事業	公益事業	法人合計
事業活動による収支	事業活動収入計	732,169,330	17,920,087	750,089,417
	事業活動支出計	747,393,441	19,004,787	766,398,228
	事業活動資金収支差額(1)	-15,224,111	-1,084,700	-16,308,811
施設整備等による収支	施設整備等収入計	4,080,063,460	0	4,080,063,460
	施設整備等支出計	4,166,792,874	2,238,195	4,169,031,069
	施設整備等資金収支差額(2)	-86,729,414	-2,238,195	-88,967,609
その他の活動による収支	その他の活動収入計	108,887,528	5,407,000	114,294,528
	その他の活動支出計	3,895,155	0	3,895,155
	その他の活動資金収支差額(3)	104,992,373	5,407,000	110,399,373
予備費(4)	0	0	0	
当期資金収支差額(5)=(1)+(2)+(3)-(4)	3,038,848	2,084,105	5,122,953	
前期末支払資金残高(6)	170,104,390	15,477,682	185,582,072	
当期末支払資金残高(7)=(5)+(6)	173,143,238	17,561,787	190,705,025	

事業活動収支計算書

(自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日

勘定科目		社会福祉事業	公益事業	法人合計
サービス活動増減の部	サービス活動増益計	727,820,799	17,826,286	745,647,085
	サービス活動費用計	756,191,610	19,874,089	776,065,699
	サービス活動増減差額(1)	-28,370,811	-2,047,803	-30,418,614
サービス活動外増減の部	サービス活動外増益計	4,348,531	93,801	4,442,332
	サービス活動外費用計	25,767	0	25,767
	サービス活動外増減差額(2)	4,322,764	93,801	4,416,565
経常増減差額(3)=(1)+(2)	-24,048,047	-1,954,002	-26,002,049	
特別増減の部	特別増益計	1,651,743,000	0	1,651,743,000
	特別費用計	2,383,515,897	38	2,383,515,935
	特別増減差額(4)	-731,772,897	-38	-731,772,935
当期活動増減差額(5)=(3)+(4)	-755,820,944	-1,954,040	-757,774,984	
前期末繰越活動増減差額(6)	199,169,050	17,394,828	216,563,878	
当期末繰越活動増減差額(7)=(5)+(6)	-556,651,894	15,440,788	-541,211,106	
その他の積立金取崩差額(8)	2,386,664,144	5,407,000	2,392,071,144	
その他の積立金積立額(9)	1,530,718,656	0	1,530,718,656	
次期繰越活動増減差額(10)=(7)+(8)-(9)	299,293,594	20,847,788	320,141,382	

貸借対照表

(自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日

資産の部				負債の部			
	社会福祉事業	公益事業	法人合計		社会福祉事業	公益事業	法人合計
流動資産	277,024,352	18,246,449	295,270,801	流動負債	123,033,736	6,091,662	129,125,398
固定資産	2,763,307,371	4,644,491	2,767,951,862	固定負債	67,145,545	0	67,145,545
				負債の部合計	190,179,281	6,091,662	196,270,943
				純資産の部			
				基本金	10,000,000	0	10,000,000
				国庫補助金等特別積立	2,435,451,848	1,358,490	2,436,810,338
				その他の積立金	100,000,000	0	100,000,000
				次期繰越活動増減差額	304,700,594	15,440,788	320,141,382
				うち当期活動増減差額	-750,413,944	-7,361,040	-757,774,984
				純資産の部合計	2,850,152,442	16,799,278	2,866,951,720
資産の部合計	3,040,331,723	22,890,940	3,063,222,663	負債及び純資産の部合計	3,040,331,723	22,890,940	3,063,222,663

# 理 事 長 ・ 送 別 会



「会場・4F 体育館」



「感謝状送呈」



「花束をどうぞ」



「別れのご挨拶」



「名残り惜しいです」



「お元気で」



「惜別の記念撮影」

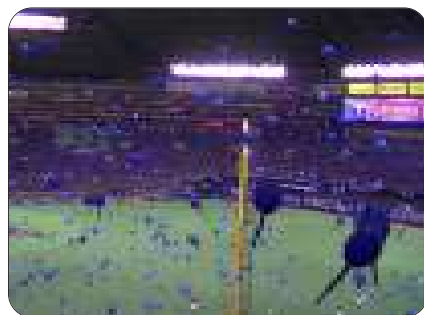
# 福岡一泊旅行



「頑張れ ホークス！」  
(ヤフオクドーム)



「おそろいのユニフォームで応援」  
(ヤフオクドーム)



「ジェット風船が飛んだ！！」  
(ヤフオクドーム)



「名物・摂津弁当を堪能」  
(ヤフオクドーム)



「アシカショー」  
(マリンワールド)



「イルカショー」  
(マリンワールド)



「レストランで昼食」  
(マリンワールド)



「記念撮影」  
(マリンワールド)



「帰りの車内の様子」  
(一泊旅行)

# トピックス & 余暇活動



「楽しいひと時」  
(県立大学ボランティア活動)



「懐かしい曲がいっぱい」  
(県立大学ボランティア活動)



「念入りに磨いて貰いました」  
(米海軍教会ボランティア)



「口腔ケア講習会・風景」  
(By 川崎貴子先生)



「摂食嚥下機能検査研修会」  
(By 川崎貴子先生)



「お願いします」  
(米海軍教会ボランティア)



「ビールで乾杯」  
(G 外出・アーケード)



「元利用者の宮原さんと出会いました」  
(G 外出・アーケード)



「寄贈頂いた苺」  
(村田様・ご家族より)



# トピックス & 余暇活動



「ふうせんゲーム」  
(4F 体育館)



「さいころゲーム」  
(4F 体育館)



「本の読み聞かせ支援①」  
(2F マルチルーム)



「本の読み聞かせ支援②」  
(2F 個室)



「散歩」  
(2F ベランダ)



「かわいかねえ～」  
(職員さんの赤ちゃん)



「カラオケ風景」  
(4F マルチルーム)



「七夕作り」  
(4F マルチルーム)



「星に願いを」  
(4F マルチルーム)

にじいろ歌壇

平成28年展海9月号 短歌詠草

空青く川は明日へと流れゆき

若人たちは岸辺を駆ける

可部谷 かへたに 正子

十五歳のわれへの父のプレゼント

セイコー時計を今も身に付く

大坪 道夫

「にじいろ」の介護士とふたり屋上の

温かい日に包まれており

高蔵 清治 せいじ

つくも苑と別れる朝の理事長の

笑顔にわれの感動深し

小川 くに子

女学生で満州の看護婦たりしおば

九十五歳の生に乾杯！

松本 涼子 りょうこ

大地震 おおないの被災激しき熊本城

ライトアップで市民を励ます

安藤 登光 のりみつ

病室にはドラマの材料あふれいて

家族の形もいろいろ見たり

センター 今浦 慶光 よしみつ

傘を手に登校の子らは目の前の

夏へと思いふくらませいむ

職員 小濱 こはま 規男

タマネギなど車庫に吊るして少しづつ

農家の主めきくる夫

講師 下田 秀枝 ひずえ



# お知らせ

平成28年5月～平成28年8月

## 行 事

- 7月5日 参議院選挙不在者投票
- 7月19日～20日 宿泊旅行（福岡県）
- 8月3日 子ども参観日
- 8月17日 子ども参観日

## 実 習 ・ 研 修

- 6月3日 サービス管理責任者  
ネットワーク会議（にじいろ）
- 6月9日 初任者研修（長崎市）
- 6月15日 リーダー研修（にじいろ）
- 6月16日 中堅職員研修会（アルカス佐世保）  
指導者研修会（長崎市内）
- 6月23日 チームリーダー研修会  
（アルカス佐世保）
- 6月29日 リーダー研修（にじいろ）
- 6月30日 救急救命講習会（にじいろ）
- 7月8日 リーダー研修（にじいろ）
- 7月11日 メンタルヘルス研修（にじいろ）

- 7月12日 リーダー研修（にじいろ）
- 7月14日～15日 全事協九州ブロック会議  
（沖縄県）
- 7月15日 生活相談員スキルアップ研修会  
（長崎市）
- 7月21日～22日 全身協研究大会（愛知県）
- 7月25日 メンタルヘルス研修（にじいろ）
- 7月29日 メンタルヘルス研修（にじいろ）
- 7月30日 重度障害者の日常の  
姿勢づくり研修会（福岡県）

- 8月3日 管理者研修会（長崎市）
- 8月17日 成年後見実務研修会（大村市）
- 8月24日 コミュニケーション研修会（長崎市）
- 8月25日 役職員研修会（諫早市）

## 実 習 生 の 受 け 入 れ

8月22日～30日 長崎短期大学介護実習4名

## シ ョ ー ト ス テ イ 利 用 状 況 ( 累 計 )

- 7月 男性15名 女性6名
- 8月 男性25名 女性4名

## 見 学 ・ ボ ラ ン テ ィ ア

- 5月8日 県立大学ボランティア活動
- 6月19日 県立大学ボランティア活動
- 6月21日 米海軍教会ボランティア活動
- 7月11日 布の絵本の会（縫製ボランティア）
- 8月8日 布の絵本の会（縫製ボランティア）
- 8月25日 視察研修（つくもの里）

## 利 用 者 の 移 動 状 況

- 入所 7月21日 溝上定人様
- 退所 8月1日 村中一典様（死亡退所）
- 8月20日 伊達昭人様（死亡退所）

## 退 職 者

6月13日付 中山紗矢香（生活支援員）

## 寄 付 ・ 寄 贈

寄贈 村田安優実様ご家族様

# 縫製ボランティア

「布の絵本の会」の皆様には、以前より定期的な縫製ボランティアのために来所して頂いております。縫製への利用者の皆様の希望は多いのですが、量や裁縫技術の面でも、職員だけではなかなか手が回らないのが実状です。布の絵本の会の皆様に仕上げて頂いたものはとても丁寧な仕上がりで、利用者の皆様も大変喜んでおられます。

近年は「日本人は物の大切さを忘れがち」ともよく言われますが、このようなボランティアに来ていただき作業を拝見することで、私たちが物を長く大切に使うことを改めて思い出すことができます。

縫製ボランティアの皆様、いつもありがとうございます。



# 米海軍教会ボランティア

6月21日に米海軍教会の皆さんがボランティア活動に来てくださいました。にじいろに移転してから始めての米海軍教会によるボランティア活動となりました。今回は、車椅子の掃除をお願いし、快くお引き受けいただきました。始めての場所での活動でしたが、皆さんなれた様子でテキパキと作業をして頂き、多くの利用者の車椅子が綺麗に磨き上げられました。利用者の皆様も大変喜んでおられたようです。

米海軍教会の皆様、ありがとうございます。



「いつもお世話になります」  
(米海軍教会ボランティア)



# 編集後記

今年の日本は各地で例年以上の暑さに見舞われ、酷暑という言葉がピッタリと当てはまるような毎日が続きました。そんな夏の猛暑以上に熱く盛り上がったリオ五輪。日本人選手の活躍もすばらしく、日本中が興奮と睡眠不足に包まれた大会となりました。

次はいよいよ東京五輪の番です！今大会を超える選手達の活躍に期待するだけでなく、世界中の人たちに日本の「おもてなしの心」を知ってもらう機会と考えると、一人の日本人として身が引き締まる想いがあります。

四年後の東京五輪に向けて、改めて「おもてなしの心」見直す良いきっかけになるのではないのでしょうか。少し遅いですが、自分自身への夏休みの宿題として、まずは自分の身の回りから「おもてなしの心」を心がけ、気を引き締めて日々を過ごしていきたいものです。

編集子